

株式会社パソナグループ
株主通信

2015年6月1日～2015年11月30日

「白川郷」早田 龍輝

■ 創業40周年を迎えて

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
パナソニックは今年2月に、創業40周年を迎えます。

今でこそ、女性の活躍機会を広げようと政府も企業も様々な取り組みを行っていますが、40年前は「女性は家で家事・子育てをしていればいい」とあからさまに言われる時代でした。また企業の人事制度は終身雇用・年功序列といった、いわゆる“日本型雇用”が中心で「男性は総合職、女性は一般職」という括りで処遇格差は大きく、さらには正社員であったとしても企業規模によって福利厚生や健康管理には大きな開きがありました。

40年前、大学4年生だった私は、この社会の現実に疑問を感じて起業を決意しました。

そして子育てをしながらでも、あるいは一度家庭に入ってブランクがあったとしても、すべての女性が正社員と遜色のない処遇で働くことができ、健康診断や教育研修も受けられる「雇用格差のない仕組み」としてスタートしたのが「テンポラリーワークシステム」でした。当時、時間給は大手企業の女性社員の平均年収を1年間の労働時間で割って計算しました。つまり一日2時間だけ働いても時間給は正社員と同じです。だから当時の派遣時給は、パート・アルバイトの2倍以上になりました。そして従業員が10人でも100人でも1万人の会社であっても、企業規模の大小や業種・地域に関わらず、大企業と同等の福利厚生を受けられる、「格差のない仕組み」を創りたいと設立したのが、ベネフィット・ワンです。そのベネフィット・ワンも今年で、創業20周年を迎えます。お陰様で現在は、大企業から中小企業まで様々な企業や団体の従業員720万人を超える方々が、90万件以上もの福利厚生メニューを利用することができるようになっています。

■ “人材誘致”で地方活性と雇用創造に挑戦する

そして現在、国内では産業構造が変化し、かつて地方で雇用を支えていた工場が、円高経済時には海外に移転するなど、地方の人口の減少と産業の衰退が問題視されています。

そこでパナソニックでは、地方自治体や地元企業、地域の方々と一緒に、新たな産業を提案し、様々な才能を持った人材が集まることで、地域産業を活性化させる“人材誘致”による「地方活性化事業」を全国で推進しています。

昨年4月京都府から運営を受託し、リニューアルオープンした西日本最大級の道の駅「丹後王国「食のみやこ」」には、12月時点の約半年で45万人が来場。関西に新しくオープンした道の駅ランキングでも第1位に選ばれるなど、京丹後の豊かな食文化を楽しむことができる観光拠点として注目されています。

兵庫県淡路島では、廃校となった小学校を再生し地方活性化拠点として運営する「のじまスコラ」や、島内の新鮮食材とはちみつを使った料理を提供する健康をテーマにしたカフェ「ミエレ」など、地域遊休資産の新しい活用を提案。様々なイベントを開催することで地元の方々だけではなく、島外からも観光客にお越しいただき、年間計16万人の方々にご利用いただいています。



また青森県では、県産品の6次産業化と人材育成による販売促進事業を受託、福岡県では家庭を持つ主婦の農業への参加を促す事業、佐賀県ではテレワークを活用した地域雇用の推進、そのほかにも全国の地方自治体からUIターンに関する窓口の運営を受託し、地域の魅力を情報発信して、地方への“人材誘致”を加速させています。

そして今年1月からは“地方創生”を担う専門家を育成する半年間の研修プログラム「地方創生塾」を東京で開始。課題解決に向けた専門的な知識を身に付けることはもとより、実地研修なども取り入れ、地方に変革をもたらす人材の育成・輩出を視野に雇用創造に取り組んでいます。

私たちパナソニックグループは創業から40年間、年齢や性別に関わらず、誰もが自分のライフスタイルにあわせてイキイキと活躍できる社会の実現を目指してまいりました。今年も様々な社会ニーズに応じていくと共に雇用創造に挑戦してまいります。

2016年2月

株式会社パナソニックグループ
代表取締役 グループ代表

南部靖之

上半期を振り返り、当期の事業戦略に沿ってパソナグループの主なトピックをご紹介します。

BPO事業の成長加速

▶ 各社と資本提携や協業開始、BPO専門分野の拡大を目指す

業務の効率化において、ITは欠かせないツールです。外部パートナーとの連携によりそれを早期に実現し、お客様のニーズを確実に捉えていきます。パソナやパソナテックでは各社との新しい協業を開始しています。

+ **スマートスタイル**
クラウドやソーシャル時代を支える技術として期待されるエンタープライズOSS(オープンソースシステム)事業を強化

+ **モンスター・ラボ**
グローバルソーシングサービスでITO(ITアウトソーシング)事業を拡大

+ **IPsoft Japan**
「仮想エンジニア」を活用したBPO・ITOサービスを開始

+ **レイル**
人材と組織との適合性を高める採用代行サービスを開始

+ **Tagboard**
「#tagboard」*の販売代理店契約を締結。ソーシャルメディアマーケティングを支援



*タグボードはTwitter、FacebookなどのSNSに投稿された内容を瞬時に検索・収集するサービス

+ **日本IBM**
データ分析に基づいた人材採用活動を支援する「RPO(リクルートメント・プロセス・アウトソーシング)サービス」を開始

▶ ヒト型ロボット「Pepper」を活用した新しい『受付業務委託サービス』を提案

パソナは、ソフトバンクのヒト型ロボット「Pepper(ペッパー)」を活用し、人材とロボットを融合させた新しい受付サービスの提案を開始しました。受付時に頻繁に使われるトークや応対、また館内案内等ができる「受付アプリ」を開発、導入。ワンランク上の受付業務を目指します。



▶ マイナンバー関連サービスを開始

企業・団体は従業員や個人取引先よりマイナンバーを適正に取得し管理・利用することが必要となりました。パソナはみずほ情報総研と連携してサービスを提供し、安全かつ適正な管理を支援します。またビーウィズでは、専用のBPOセンターを設け、「マイナンバー適正収集サービス」を開始しています。

▶ 給与計算代行「ベネフィットワン・ペイロール」設立

パソナグループとベネフィット・ワンは8月、給与計算や勤怠管理等を行うベネフィットワン・ペイロールを設立。グループ各社4万人以上の社員とエキスパートスタッフを対象とし、今後外部企業にもペイロールサービスを展開していきます。

エキスパートサービスの専門強化と拡大

▶ 各種専門人材育成プログラムを開始

各分野のパートナーと連携し、各種専門人材育成プログラムを開始しました。今後も人材の育成を強化・拡充していきます。

+ (日本オラクル)
「Oracle BI Cloud アシスタント」育成型派遣開始

+ (BlueMeme、アカリク)
「OutSystems Platform」を活用した開発技術者を育成

+ (セールスフォース・ドットコム)
クラウド技術者育成研修プログラムを開始

▶ 一般・企業向けにキャリアコンサルティング開始

自分のライフスタイルや環境に合わせた柔軟な働き方やキャリアについて考える女性が増える中、パソナは国家資格をもつキャリアコーチが1対1でキャリア相談を実施するサービスを11月から一般向けに開始しました。また、女性社員の人材育成に取り組む企業向けにも当該サービスを提供します。



キャリアの棚卸し、強みの確認やビジョン等を明確にし、学習計画立案まで継続的に支援

グローバル事業の拡大

▶ パナナNA ダラス支店、サンフランシスコ支店を開設

景気好調が続く米国では、日系企業の進出が加速しています。パナナNAは7月にダラス支店、10月には北米エリア10支店目となるサンフランシスコ支店を開設。サービス提供エリアを拡大し、日系企業の人材ニーズに応えます。



▶ パナナテックベトナム「ハノイBPOセンター」開設

パナナテックベトナムは12月、自動車や電機など大手日系メーカー企業が数多く拠点を構えるハノイに、ソフトウェア開発やCAD製図などのITO・BPOサービスを提供する「ハノイBPOセンター」を開設。エンジニアを育成する教育研修や、地元の大学と企業を繋ぐ産学連携事業も行っています。

▶ パナナテックベトナム 日系独資の人材会社で初めて派遣ライセンス取得

請負、人材紹介の事業を展開しているパナナテックベトナムは、新たに労働派遣ライセンスを取得し、人材派遣サービスを10月から開始しました。多様化する企業の採用ニーズに対し、様々なソリューションを提供していきます。

▶ パナナインディア 研修事業を拡充 現地従業員・駐在員向けにレベル別・企業別に実施

パナナインディアは11月より、インドに進出している日系企業向けの研修を拡充し、受講者の属性やレベルに合わせた研修が可能となりました。教育研修を通じて日系企業のビジネス文化に理解がある優秀な人材を育成し、インド人社員と日本人社員との相互理解を促します。



ヘルスケア事業の強化

▶ 厚生労働省「ストレスチェック実施プログラム」のヘルプデスク業務を受託

12月、労働安全衛生法の一部改正によりストレスチェックが義務付けられました。ピーウィズは同月より、厚生労働省が全国の事業所向けに無料配布する「ストレスチェック実施プログラム」のヘルプデスク業務の運営を受託しました。

▶ 糖尿病重症化予防サポートアプリ「ハビルスヘルスダイアリー」開始

ベネフィットワン・ヘルスケアは、「糖尿病重症化予防プログラム」の参加者に対し、日々の生活習慣管理記録を主治医・保健指導員・家族にリアルタイムで共有できるアプリ「ハビルスヘルスダイアリー」の提供を、9月から開始しました。

▶ 健康経営セミナー「人を活かす健康経営」開催

従業員の健康管理を経営的な視点で捉え、従業員の生産性向上や組織活性化へと結びつける「健康経営」の考えが注目されています。パナナは8月、健康経営の必要性やケーススタディ、体制作りなどを紹介するセミナーを開催しました。

▶ 派遣登録社員の健康促進 医療知識や疾患について学ぶeラーニング講座開始

パナナは本人の健康管理や未病に繋げるだけでなく、家族の介護にも備えられるよう、健康に関する様々な情報を提供するため、エキスパートスタッフの方々を対象にしたeラーニング講座「PASONA Medical-Healthcare Academy」を8月から開始しました。

パナナグループのホームページ
がリニューアルしました
www.pasonagroup.co.jp

パナナグループの雇用創造の最新の取り組みもご紹介しています。スマートフォンからも見やすくなりました。ぜひご覧ください！



地域経済の活性化は国家的な課題となっています。パナソニックグループでは中長期的に注力する5分野のひとつとして「地方創生」を掲げ、新たなビジネスチャンスの創造に取り組んでいます。

地方創生サポート体制の整備

地方を活性化するための知見・ノウハウやネットワークを築く活動、地域に変革をもたらす人材の育成・輩出等を通じ、日本の地域の産業活性化と持続的な発展に貢献していけるよう取り組んでいきます。

■ 外国人観光客を地方に誘導し地方を活性化 「地方創生インバウンド機構」を設立

<http://liijapan.com>

観光庁の「観光立国推進基本計画」では、2020年までに訪日旅行者数(インバウンド)を2,500万人に増やすことを目標とし、期待が寄せられる市場となっています。

近年急増する訪日外国人に対し、インバウンド産業に関わる事業者・行政が一丸となり、業界団体横断で対応していくことが求められています。

そのような中、パナソニックグループは、インバウンドを通じて、地域資源発掘・移住者拡大・交流人口拡大といった地域課題の解決と、インバウンド市場の発展を目指すため、「地方創生インバウンド機構」を設立しました。



有識者、インバウンドや地方創生実践関係者をスピーカーとして2015年9月を皮切りに定期的に研究会を開催。研究会にはどなたでも無料でご参加いただけます

■ 地域の活性化と持続的な発展を担う人材を育成する 『地方創生塾』を開講

<http://www.chihososei-juku.com/>

パナソニックグループでは、「地方創生」を担う人材を育てることを目的に、地方での活躍を考えている方や自治体等の職員の方々を対象にした『地方創生塾』を1月に開講しました。

地域活性を専門分野として活躍できる人材を継続して輩出し、各地と人材をマッチングすることで、日本が直面している課題解決に貢献していくことを目指します。



開催記念セミナーでは18の自治体などが地域活性の取り組みを紹介するブースを出展

特徴

- 1 各界有識者による実践的な講義
- 2 地方が抱える課題の把握、解決への専門的知識を学ぶ研修
基礎研修:「地方自治体・国の制度」「補助金活用・申請書類の作成方法」「グローバルリーダーシップ」等
実地研修: 農業体験、観光資源視察等
- 3 交流会・コミュニティ組織等による長期的人材育成の場の提供

地方への人材の流動化推進

シニア人材と地方の中小企業等とのマッチングを促進。雇用のミスマッチを解消するとともに、地域企業等の発展を支援します。

■ 現役管理職やOBを地方企業に派遣 M(ミッション)ターン

パナソニックは、地方移住に興味のある方や地方でやりがいのある仕事に就きたい方を対象に、期間を限定して地方企業で働く「M(ミッション)ターン」という働き方を提案しています。地方企業の求人情報をはじめ、全国各地の移住に関する情報提供やアドバイス、事業広報等を行うセンターを東京/大手町にて運営。また宮城県や愛知県などから移住・定住推進事業を受託し、各地で支援センターを開設しています。

■ 総務省より受託

『起業家誘致・人材サイクルポータルサイト』

日本雇用創出機構は、総務省から「起業家誘致・人材サイクル事業」を受託し、地方の中小企業等の求人情報と、首都圏の大手企業で豊富な実務経験をもつ中高年人材の求職者情報を提供する『起業家誘致・人材サイクルポータルサイト』を運用しています。エキスパート人材の地域の中小企業等への転身を支援しています。

地方創生プロジェクト事例

パソナグループでは、雇用創造を目指して、独自の地方活性化事業に取り組んでいます。地方自治体、地元関係者とも連携しながら、様々な人材が集う“人材誘致”企画も積極的に展開しています。

■ 淡路 世界のアーティスト17組24名が集結 『Awaji Art Circus 2015』開催

パソナグループは11月、淡路島や地域の魅力を世界に情報発信していくため、世界11か国から17組24名のアーティストを兵庫県淡路島に招き、コンテンポラリーダンス、ストリートシアター、動く銅像、ピエロなど、様々なアーティストが淡路市内各地でパフォーマンスを披露する『Awaji Art Circus 2015』を開催しました。期間中、来日したアーティストがSNS等で島の魅力や地域情報を母国および世界に向けて発信し、島への観光需要の拡大を目指しました。



世界各国から集まったアーティストたち



パフォーマンス/ピエロ

■ 『ONE STEP淡路島古事記外伝～ヤマタノオロチ～』開催

パソナグループは12月、全国から淡路島に移住した若者が一流のアーティストとともに作り上げるオリジナルショー『ONE STEP淡路島古事記外伝～ヤマタノオロチ～』を淡路市立しづかホールにて開催しました。

半農半芸を实践する「ここから村」生の発表の場として年に一度開催。多才な才能と様々な可能性を持つ若者の活躍の場を提供すると共に、島内外からたくさんの方にお越しいただきました。



一流のアーティストに加え、ここから村の卒業生たちもパフォーマンスに参加



■ 丹後王国「食のみやこ」 来園者好調 45万人突破 関西ウォーカーにて2015年度新オープン道の駅第1位を獲得

<https://tango-kingdom.com/>

パソナグループが京都府からの委託を受け、地元企業と共に運営している西日本最大級の道の駅『丹後王国「食のみやこ」』は、2015年4月のリニューアルオープン以来、多くの方々にお越しいただき、12月に来園者数45万人を突破しました。



「関西ウォーカー」で紹介された丹後王国



プレゼント



「お米の食味ランキング」最高位の「特A」を幾度も獲得した京丹後産コシヒカリと、京丹波高原豚や地元の牡蠣を使用した丹後王国オリジナルカレー2種のセットです。

丹後王国の“食”を10名様にプレゼントいたします。

- ご応募方法：郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記の上、電子メールまたは郵便はがきにて下記までご応募ください。ご記入いただいた個人情報は、当プレゼントの応募受付、当選者への発送にのみ利用します。発送は、委託先の丹後王国から行います。

〈電子メールの宛先〉book@pasonagroup.co.jp

〈郵便はがきの宛先〉〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4

株式会社パソナグループ IR室 株主さまプレゼント係

- 応募締切：2016年3月31日(当日消印有効)
なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

パナグループでは、様々な人々に自分の能力・才能を発揮する機会を提供するため、文化・芸術活動、障害者支援やボランティア基金の運営など、多様な社会貢献に取り組んでいます。

収穫体験で地域住民と交流 障害者就労訓練農場で 『ハロウィンパーティー(収穫祭)』開催

パナハートフルは、農作業を通じて障害者の自立支援を行う農場「草加市障害者就労訓練農場」にて、訓練に取り組む訓練生やパナハートフルの障害のあるメンバー、地域の特別支援学校に通う生徒や住民の方々が収穫体験を通して交流を深めるイベント『ゆめファーム収穫祭(ハロウィンパーティー)』を10月31日に開催しました。訓練生と地域住民の方々が交流を図ることで、個々の能力・才能を活かした障害者就労への理解を促進していきます。



当日は、約150名が「ハロウィン」をテーマに仮装し、農場で育てた野菜の収穫体験や、その野菜を使ったバーベキュー、レクリエーションを通じて交流を深めました



プロのヴァイオリニストによるストラディヴァリウスの音色とパナグループ「夢オーケストラ」の共演



日本の新たな魅力を発信 1日18万人もの人々が訪れる羽田空港で 「アート村作品展」を開催

「才能に障害はない」をコンセプトに、障害者のアートによる就労分野の拡大を目的として設立された「アート村」では、現在18名の「アーティスト社員」が活躍しています。11月、羽田空港第2旅客ターミナル5階の展示スペースにて、知的障害のあるアーティストが「日本の世界遺産と羽田空港」をテーマに描いた絵画33点を展示する「アート村作品展」を開催しました。多くの観光客で賑わう羽田空港で、世界遺産に指定された日本の美しい風景や、羽田空港をテーマにした作品を展示し、豊かな感性で日本の新たな魅力を発信しました。



「空港」松澤 弥香
空港の様々な風景をとらえた作品も多数展示



オープニングにはアーティストたちも集合

音楽を通じて互いの絆を深める 夢オーケストラ『ストラディヴァリウス・フェスティバル』開催

パナグループのエキスパートスタッフ(派遣登録社員)やクライアント企業、グループ社員によって構成されるパナグループ「夢オーケストラ」が、300年以上の歴史を誇るヴァイオリンの名器ストラディヴァリウス4台と共演するコンサート『ストラディヴァリウス・フェスティバル』を10月、東京オペラシティコンサートホールにて開催しました。「夢オーケストラ」は、2008年に設立され、現在約60名の団員が月2回、平日仕事の後に練習を重ねています。音楽を志す様々な立場の方が一体となり、音楽の素晴らしさを感じながら演奏しました。またコンサートの収益金の一部は、台風18号大雨災害への募金として寄付しました。

● 連結損益計算書の概要

BPO事業の強化によるインソーシングの伸長等で増収。先行投資等で販管費が増加し、営業利益は減。

売上高

1,276 億円 前年同期比
+12.1%

- ▶ インソーシング(委託・請負)、アウトソーシングをはじめ多くのセグメントで増収となりました。
- ▶ 前期末に連結子会社化したパナ・パナソニック ビジネスサービスが当期より寄与しています。

営業利益

11 億円 前年同期比
△10.3%

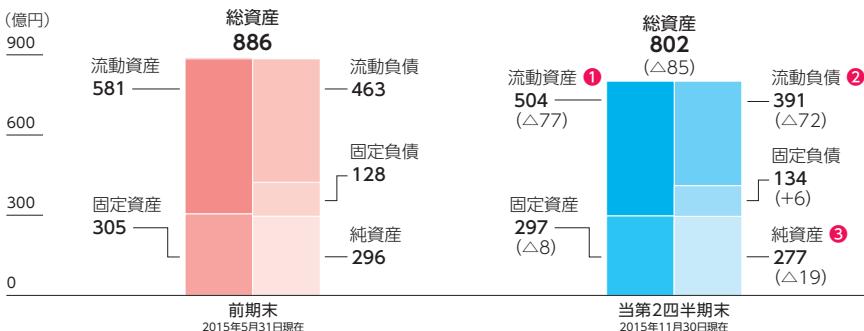
- ▶ 増収等により売上総利益は前期比+13.2%増加しました。
- ▶ 再就職支援事業のコスト抑制による生産性向上も利益貢献。
- ▶ 一方、M&Aや業容拡大に加え一部前倒しの投資等により販管費が増え、営業利益は減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失

△3.3 億円 前年同期は
△1.6億円

- ▶ 営業利益に続き、経常利益も9.8億円(前期比△12.7%)、親会社株主に帰属する四半期純損失も△3.3億円と減益となりました。

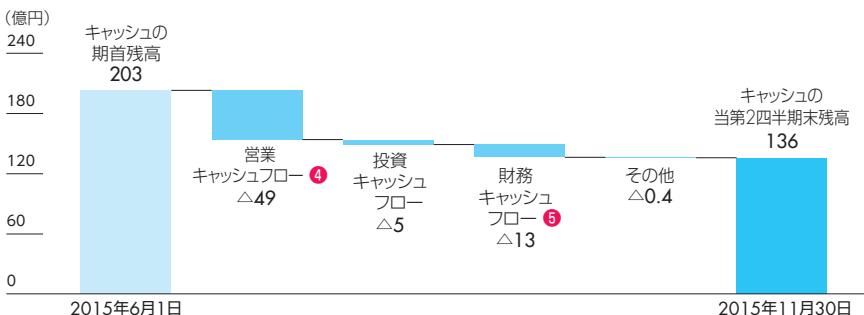
● 連結貸借対照表の概要



ポイント解説

- ① 主な科目の変動は、現金及び預金の減少(△72億円)です。
- ② 主に、未払消費税等の納付による減少(△36億円)、季節的・一時的な買掛金の支払いによる減少(△23億円)です。
- ③ 主に、前期配当金の支払(△4.4億円)、親会社株主に帰属する四半期純損失(△3.3億円)、子会社(ベネフィット・ワン)自己株式取得による変動(△8.3億円)によるものです。

● 連結キャッシュフロー計算書の概要



- ④ 主に、未払消費税等の減少(△36億円)、営業債務の減少(△27億円)、減価償却費(16億円)などによるものです。
- ⑤ 主に、子会社自己株式の取得(△8.3億円)、非支配株主を含めた配当金の支払(△9.6億円)などによるものです。

エキスパートサービス(人材派遣)

サービス業やメーカーをはじめ、幅広い業界で受注増加

- 専門性の高い人材ニーズが増加しており、教育・研修プログラムの提供に加え、有資格キャリアカウンセラーの育成に注力し、キャリアアップを全面支援しました。
- クラウド技術者の育成派遣等を行うパソナテキーラを持つ分法適用会社から連結子会社に変更する等、IT分野の即戦力となる人材の育成にも注力しました。
- 前年同期は一部子会社が8ヶ月決算であったため、その影響を除く実質ベースでは増収となりました。

インソーシング(委託・請負)

様々な業務の外部委託が定着し、引き続き順調に推移

- コスト削減や経営効率向上などの効果が評価され、実績の増加に伴って提案力も向上し、新規顧客の開拓も進みました。
- パブリック分野では、保育関連事務など新しい分野も伸長し、行政事務代行も引き続き拡大しました。
- IT企業を中心に業務提携を進め、提案領域がさらに拡張しました。
- 前期に連結子会社化したパソナ・パナソニック ビジネス サービス及び同社子会社が当期より業績に寄与し、大幅な増収となりました。

グローバルソーシング(海外人材サービス)

日系企業の海外進出が引き続き増加し、人材需要は堅調

- 人材紹介は北米をはじめ多くの地域で成約が増加したほか、人材派遣は北米やインドで稼働者数の増加や時給の上昇が見られました。アウトソーシングも給与計算代行やBPOなどの案件が増加しています。
- 北米での支店の開設、インドネシアの海外法人の子会社化、ソリューションメニューの拡大など、今後の成長が見込まれる地域で事業基盤を強化しました。

キャリアソリューション(人材紹介、再就職支援)

人材紹介、再就職支援ともに好調に推移

- 好況な求人環境のなか、人材紹介はコンサルタントの教育等で利用者満足度を高め、順調に伸長しました。特に、管理職層の成約が増加したほか、女性の転職マーケットで先行し、女性管理職候補の成約も好調に推移しています。
- 再就職支援は、企業の雇用調整が減少しているものの、着実に受注を獲得し、また起業支援、U・ターンなど、セカンドライフ支援のための福利厚生としての導入も増加しています。コンサルタント1人当たりの生産性向上などにより、大幅な増益となりました。

アウトソーシング

サービスインフラを有効活用し多角的に事業を展開

- 主力の福利厚生事業は提案営業を積極的に行い、中堅・中小企業の開拓にも注力した結果、カフェテリアプラン導入企業が拡大しました。
- 報奨金などをポイント化して管理・運営するインセンティブ事業も堅調に推移し、取引先と協働で個人顧客向けサービスを展開するパーソナル事業においても会員数が大幅に増加しました。
- 海外事業も積極的に推進しています。

ライフソリューション、パブリックソリューション

政府の施策が追い風。事業環境は堅調

- 政府の待機児童解消や女性活躍推進に向けた施策が追い風となり、保育関連事業のパナソフォスターは保育施設や学童クラブの運営が増加。パソナライフケアも介護施設の運営や家事代行サービスが堅調に推移しました。
- 前年同期に8ヶ月分の業績を計上したことから減収となっていますが、実質的には増収となりました。
- 一方、利益面では保育関連事業の業容拡大に伴う労務・人件費の増加や、地方活性化事業の追加投資を実施したことなどから減益となりました。

セグメント別連結業績 (セグメント間取引消去前)

(億円)

	売上高	前年同期比 (%)	営業利益	前年同期比 (%)
エキスパートサービス (人材派遣)	657	△2.9 ^{※1}	7.6	△44.3
インソーシング (委託・請負)	344	+53.7		
HRコンサルティング、教育・研修、その他	29	+8.6		
グローバルソーシング (海外人材サービス)	28	+25.5		
セグメント小計	1,058	+11.4		
キャリアソリューション ^{※2} (人材紹介、再就職支援)	83	+21.6	16	+127.8
アウトソーシング	120	+20.3	15	+24.7
ライフソリューション、パブリックソリューション	27	△10.2	△3.6	-
消去又は全社	△12	-	△24	-
合計	1,276	+12.1	11	△10.3

※1 エキスパートサービスは、前年同期に一部子会社が8ヶ月分の業績を計上した影響が大きく、減収となっています。

※2 当連結会計年度より「ブレース&サーチ」と「アウトブレースメント」を統合し、「キャリアソリューション(人材紹介、再就職支援)」セグメントを新設しました。前年同期比については、2015年5月期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値と比較しています。

2016年5月期 連結業績見通し

2016年5月期の通期連結業績予想につきましては、上期に一部コストの前倒しや一時的な原価増が発生したものの、今後も人材需要の高まりが期待されることから、2015年7月15日に発表した見通しを変更してありません。引き続き、ソリューションメニューの拡大に注力し、更なる事業拡大に努めてまいります。

連結通期業績予想

(億円)

	2015年5月期実績	2016年5月期予想	前期比 (%)
売上高	2,262	2,680	+18.5
営業利益	35	47	+34.7
経常利益	33	46	+37.6
当期純利益 [*]	2.1	7.5	+250.2

※親会社株主に帰属する当期純利益

株式の状況

会社が発行する株式の総数: 150,000,000株^{*}

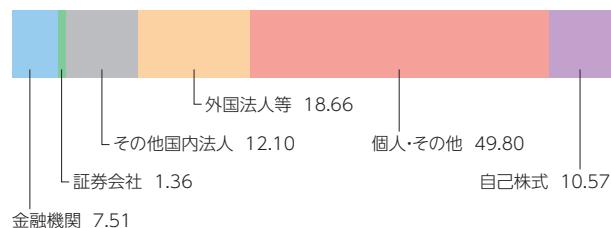
発行済株式総数: 41,690,300株^{*}

株主数: 7,561名

※2013年12月1日をもって、当社株式を1株につき100株の割合で分割するとともに、単元株式数を100株とする単元株制度を採用いたしました。

所有者別株式数

(%)



株主(上位10名)

	所有株式数(株)	持株比率(%)
南部靖之	14,763,200	35.41
株式会社パソナグループ	4,408,138	10.57
株式会社南部エンタープライズ	3,737,800	8.97
BNY GCM Client Account JPRD AC ISG (FE-AC)	1,390,134	3.33
Credit Suisse AG Hong Kong Trust A/C Client	1,227,000	2.94
Goldman Sachs International	761,845	1.83
パソナグループ従業員持株会	675,800	1.62
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	626,900	1.50
株式会社サンリオ	600,000	1.44
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	516,494	1.24

※自己株式4,408,138株(発行済株式総数に対する所有割合10.57%)は、会社法第308条第2項の規定により議決権を有していません。

役員

代表取締役グループ代表	南部 靖之
取締役会長	竹中 平蔵
取締役専務執行役員	深澤 旬子
取締役専務執行役員	山本 絹子
取締役専務執行役員	若本 博隆
取締役常務執行役員	仲瀬 裕子
取締役常務執行役員	上斗 米明
取締役	佐藤 司
取締役	森本 宏一
取締役	渡辺 尚
取締役	白石 徳生
社外取締役	平澤 創 ^{*1,3}
社外取締役	後藤 健 ^{*1,3}
社外取締役	近藤 誠一 ^{*1,3}
常勤監査役	堺 精一
社外監査役	船橋 晴雄 ^{*2,3}
社外監査役	松浦 晃一郎 ^{*2,3}
社外監査役	野村 周央 ^{*2,3}

*1 取締役の平澤創氏、後藤健氏、近藤誠一氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

*2 監査役の船橋晴雄氏、松浦晃一郎氏、野村周央氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

*3 平澤創氏、後藤健氏、近藤誠一氏、船橋晴雄氏、松浦晃一郎氏、野村周央氏は東京証券取引所の定めに基づく独立役員です。

会社概要

社名	株式会社パソナグループ(Pasona Group Inc.)
本社	〒100-6514 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング
グループ本部	〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4
創立	1976年2月16日
設立	2007年12月3日
資本金	50億円
事業内容	人材関連事業を行うグループ会社の経営戦略策定、業務支援、経営管理ならびに雇用創造に係わる事業開発等

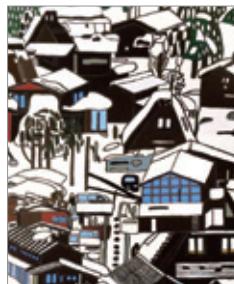
株主メモ

証券コード	2168
事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日
剰余金の配当基準日	5月31日(中間配当を行う場合は11月30日)
定時株主総会	毎年8月
株式売買の単位	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告 www.pasonagroup.co.jp/ir ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-288-324(フリーダイヤル)

表紙の絵:「白川郷」

早田 龍輝
株式会社パソナハートフル
アート村 アーティスト社員

この作品はアート村アーティストたちが描いた「日本の世界遺産シリーズ」の中の一作品です。いつもニコニコ、大きく笑いながら絵を描いています。「この作品は、たくさんの茶色を作って、塗っています。色を作るのが大好きです。たくさんの人に見ていただき、幸せな気持ちになってもらいたいです。」(本人談)



パソナグループの特例子会社のパソナハートフルでは「才能に障害はない」のコンセプトのもと、1992年に「アート村」をスタートして以来、アートを通じて障害者の社会参加を支援しています。

株式会社パソナグループ

Tel. 03-6734-0150
www.pasonagroup.co.jp



この株主通信は「FSC®認証紙」と、揮発性有機溶剤を含まない「VOCゼロ型インキ」を使用しています。